

Before >>

ご利用前の経緯

脳出血の後遺症により、左半身に麻痺が残り、車椅子が必要な生活を余儀なくされました。退院後は自分が開業したパン屋で働く事も難しく、自宅内も自由に移動出来なくなりました。2階に浴室があるので、階段を昇れないとお風呂に入れない生活が続き、「以前のような生活に戻りたい。またパン屋で働きたい」という想いが芽生え、リハビリが出来るnagomiプラス大森店に通い始めました。

生活状況と課題

- 屋内外問わず、車椅子が必須。
- 外出機会が減った事で、他者との交流機会が確保出来ていない。

After >>

喜びの声!

階段の昇り降りが出来るようになり、  
また、パン屋の仕込みも手伝えるようになりました!!

K様 46歳(男性) / 要介護3

高血圧・高脂血症・肥大型心筋症

高次機能障害・症候性てんかん

令和3年4月より

東京都nagomiプラス大森店を週2回利用

ご家族の声

年齢も若い為、リハビリ環境があるのか不安でしたが、nagomiと出会い、今ではリフトを使わず車に乗れるまで回復出来ている事を嬉しく思います。これからも利用を続け、車椅子から卒業出来るよう頑張ってください。



今後の目標

自分の開業したパン屋まで歩いて行けるようになり、  
また仕事にも復帰出来るようになりたい。

生活目標

外を歩けるようになりたい。家族の介護負担を軽減したい。

目標達成に向けた課題

左半身が麻痺しており、自立歩行が困難な状態。

K様取り組みました運動をご紹介します!! (訓練風景を公開しています!!)

①身体機能訓練

立位運動



杖を使った歩行訓練が始まり、方向転換時にふらつく課題が見つかりました。長く車椅子での生活を送られていた事もあり、下肢外側の筋肉が低下した事がふらつく原因の為、転倒予防を図り、自立した歩行の実現に繋がられるよう立位運動を実施しています。



訓練の動画はこちら

[https://youtu.be/G6M5S\\_XZhkE](https://youtu.be/G6M5S_XZhkE)

②実践訓練

平行棒設備を使用した歩行訓練



歩行時に前傾姿勢となると転倒リスクが高まり、疲労も蓄積されやすくなります。又、正しい姿勢の保持が出来ていると足を高く上げやすくなり、安定した歩行に繋げる事が出来ます。nagomiプラスでは歩行訓練実施時以外でも正しい姿勢の意識付けに取り組みんでいます。



訓練の動画はこちら

<https://youtu.be/-xh1cMs4kN4>